

土器川の減災に係る取組方針 「令和6年度の重点的な取組」の報告について

令和7年6月6日

土器川大規模氾濫に関する減災対策協議会

- 平成25年度より、大規模な水害を想定し、地域連携による“水害に強いまちづくり”を目指した危機管理対策の検討を実施。

香川地域継続検討協議会

【国・県の防災関係部局、県内全市町、経済団体、インフラ企業、大学】



平成25～28年度

土器川における水害に強いまちづくり検討会

【河川管理者、地域行政、防災の専門家】

平成25年度

土器川(国管理区間)の全区間を対象とした

広域ワークショップ

【地域住民が主体、地域行政も参加】

平成26年度

土器川のモデル地区を対象とした

検討部会

【地域行政の防災関係の全部署が参加】

平成27～28年度

土器川のモデル地区を対象とした

地区ワークショップ

【地域住民が主体、地域行政も参加】

平成28年度～

土器川大規模氾濫に関する減災対策協議会

【3市4町首長、河川管理者、県の防災関係部局】

報告

平成28年度～令和3年度

土器川大規模氾濫に関する減災対策協議会 幹事会

平成29年度～令和3年度
土器川における
水害に強いまちづくり検討会
(幹事会として任意の活動)

規約に位置づけ

令和4年度～

土器川大規模氾濫に関する減災対策協議会 幹事会

Ⅱ
「土器川における水害に強いまちづくり検討会」と称して活動

【河川管理者、地域行政、(大学)】



中讃地域
大東川
金倉川
土器川

令和2年度～

中讃地域 防災・減災・縮災ネットワーク・プロジェクト

【3市4町、河川管理者、防災士会、大学】

報告

令和4年度～

土器川・金倉川・大東川を対象とした

多機関連携型タイムライン検討ワーキング

【3市4町、河川管理者、防災士会、地方気象台、水資源機構、消防本部、警察、自衛隊、ライフライン事業者、交通事業者】

時間軸

とりまとめ書

行動計画書

住民タイムライン

「令和6年度の重点的な取組」の概要

「第10回 土器川大規模氾濫に関する減災対策協議会」 令和6年5月21日開催

①「中讃地域 防災・減災・縮災ネットワーク・プロジェクト」の推進を後押し

- ・【人材育成プロジェクト】の具体的な取組の推進
- ・【地域連携プロジェクト】の具体的な取組の推進

⇒リレー防災みらいサロンの開催(3市4町)

本資料の説明内容

②流域タイムラインの運用フォローアップの推進

- ・「流域タイムライン」の運用を推進するとともに、確認された課題に関して関係機関と共有

⇒令和5年度より運用開始し、今後も継続

(令和6年度に大きな出水がなく、タイムラインの実運用実績が少なかったため、「土器川流域タイムライン(洪水)【令和6年度版】」の更新は行わず、【令和7年度版】として次年度に運用する。)

③特定都市河川の指定による流域治水の本格的実践に向けた情報共有の推進

- ・「流域治水」の推進に向け、特定都市河川の指定に関する全国の取組状況や施策内容などの情報共有
- ・当該制度の推進に向けた関係機関との調整の推進

⇒土器川でも指定に向けた検討を開始し、今後も継続

- 「水防災意識社会 再構築ビジョン」を受けて、平成28年度に策定した「土器川の減災に係る取組方針」で設定した緊急行動計画の取組 3 5 項目について、取組目標とした令和2年度までに、各関係機関によりほとんどの取組が実施された。
- 令和2年度以降も引き続き減災にかかる取組を推進するため、減災対策の取組における本質的な課題への対応として、「人材育成と地域連携の仕組みづくり」を継続することとし、令和2年度に「中讃地域 防災・減災・縮災ネットワーク・プロジェクト（中讃地域RNP）」を設立した。
- 中讃地域RNPでは、中讃地域における多種多様な組織・団体が連携することにより、地域住民が迅速かつ的確な命を守る避難行動を実行できる“避難支援体制づくり”や、地域が迅速かつ柔軟な復旧・復興を成し遂げられる“災害に強い地域づくり”を目指すことを目的としている。
- 令和3年度は、中讃地域RNPを推進していくため、キックオフ・シンポジウムを開催し、取組の周知を図った。

「土器川の減災に係る取組方針」取組35項目

「土器川の減災に係る取組方針」 取組の大項目	取組項目
1) 水害に対する安全性の向上および危機意識の向上とともに迅速かつ的確な避難行動のための取組	24項目
2) 洪水氾濫による被害の軽減、避難時間の確保のための的確かつ効率的な水防活動の取組	7項目
3) 一刻も早い生活再建、社会経済活動の回復を可能とするための排水活動、施設整備(防災機能の維持)の取組	4項目

減災対策の取組における本質的な課題(人材育成と地域連携の仕組みづくり)への対応

中讃地域 防災・減災・縮災
ネットワーク・プロジェクト
(中讃地域RNP)の推進

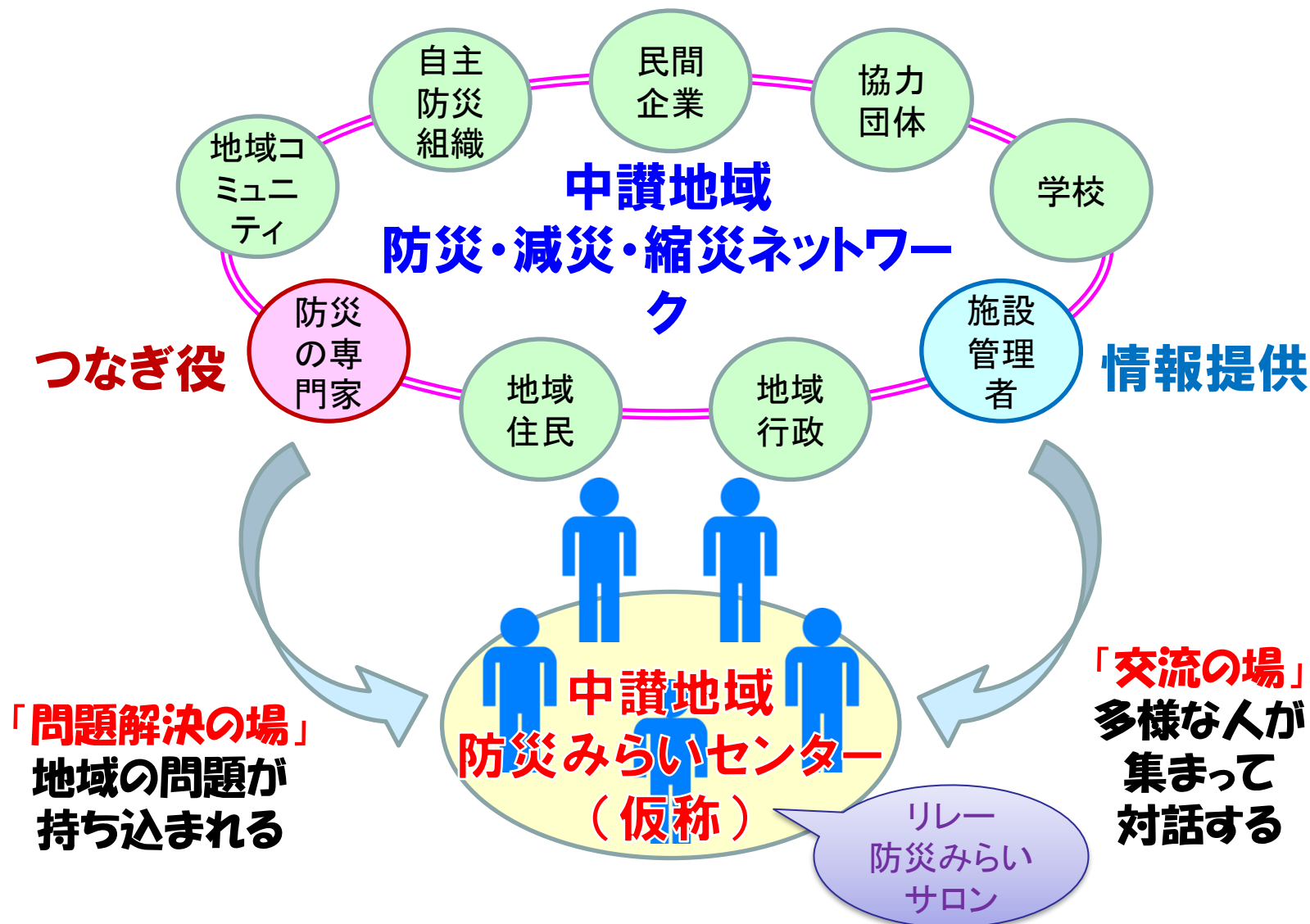
【本質的な課題への対応】(犠牲者ゼロを目指して)

●地域住民の水防災意識の向上

- ・【人材育成】: 防災士等と連携した地域防災リーダーの育成、公助と共助が連携した防災教育・訓練の仕組みづくり
- ・【地域連携】: 共助の横の連携体制(連絡体制)の強化、公助と共助が連携した情報共有の仕組みづくり

新たな枠組み(組織、場)の構築

- 中讃RNPでは、中讃地域を対象に、多種多様な組織・団体の連携による情報共有に加え、問題解決の場、交流の場として中讃地域防災みらいセンター（仮称）の構想を持ち、新たな枠組みの構築を進めている。



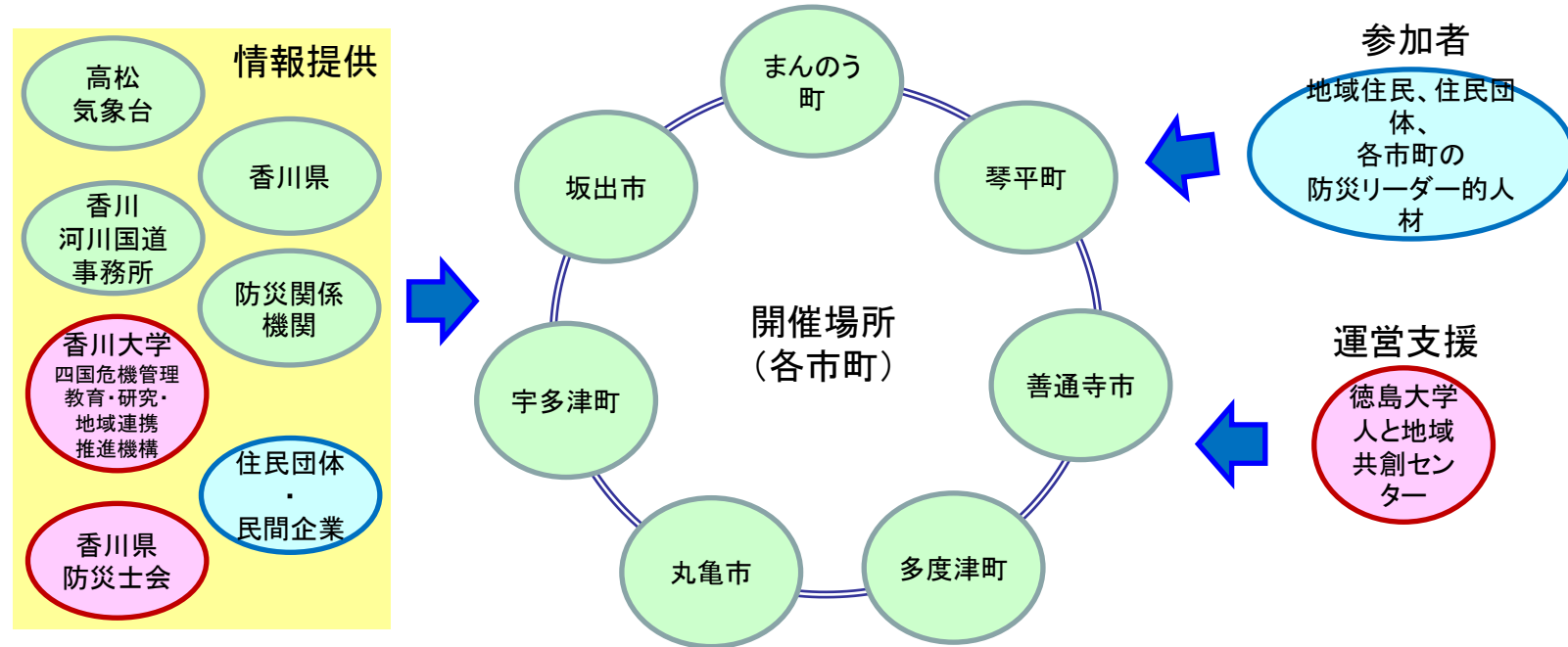
リーダー防災みらいサロンの目的

【目的】

- ① 交流の場・機会を増やす
- ② 地域の多種多様な組織・団体が知り合いになる
- ③ 「防災」をキーワードに、地域で「つながりの輪」を作る
- ④ 地域の情報を共有する
- ⑤ 地域防災リーダーを育成する
- ⑥ 様々な地域活動に共同で参画しやすくする
- ⑦ 災害時に地域で協力しやすい体制を作る

リレー防災みらいサロンの継続的な実施

- 継続的な人材育成と地域連携の場を提供し、住民自らが防災情報に関する情報の収集や意見交換、地域の活動を知るきっかけをつくるため、各自治体（中讃地域RNPメンバー）が主体となって継続的に連携して「リレー防災みらいサロン」を実施。



【リレー防災みらいサロン・プログラム(例)】

- **テーマ**: 気象情報、河川情報、防災情報システム、災害リスク(自然災害全般)、防災とまちづくり、防災と福祉、防災学習(ゲーム)、災害伝承など
- **構成**: 3部構成『①講習(現地オンライン中継)、②住民組織からの情報提供、③カフェスタイル座談会』、計2時間
- **場所**: 各市町のコミュニティセンターなど
- **コメンテーター**: 香川県防災士会 中讃ブロック・坂出宇多津ブロック、参加者(開催場所の一般参加者に加え、各市町の防災リーダー)
- **主催者**: 中讃地域RNPの主幹メンバー
- **運営支援**: 徳島大学 人と地域共創センター

リレー防災みらいサロンの開催(令和6年度)

- 中讃地域を主体に、「人材育成プロジェクト」と「地域連携プロジェクト」の活動を実施することにより、地域の情報共有、地域活動の共同参画、災害時の協力体制などの新たな仕組みを醸成させる取組として、令和3年12月のキックオフ・シンポジウムより具体的に活動を開始。
- 防災意識の向上に加え、地域のつながりを目指し、交流の場「リレー防災みらいサロン」を企画し、令和5年2月に丸亀市で第1回(試行)開催をスタートとして、令和6年度も引き続き、土器川流域の各市町で開催。

R6年度 リレー防災みらいサロン 開催状況一覧表

市町z	令和5年度	令和6年度	
	実施内容	実施状況	開催形式
丸亀市	R5.12.3(日) 出前講座	R7.1.18(土)	合同防災訓練
坂出市	R5.10.28(土) ゲーミングワークショップ	R6.11.23(土)	防災キャンプ
善通寺市	R5.9.9(土) 自主防災会講演会	R6.11.2(土)	合同防災訓練
宇多津町	—	R6.8.10(土)	防災講演会
琴平町	—	R6.7.19(金)	ワークショップ
多度津町	R5.9.23(土) ワークショップ	R6.12.21(土)	ワークショップ
まんのう町	R6.3.3(日) 総合防災訓練	R6.12.22(日) ほか	講演会 防災訓練 等

【丸亀市】R6年度リレー防災みらいサロンの概要

- 丸亀市では、市内全地区の自主防災組織による合同防災訓練を実施。
- 合同防災訓練は2部構成とし、前半では防災訓練を行い、後半では防災講演会を行った。

日 時 令和7年1月18日(土)

場 所 土器川体育センター

参加者(167名)

- ・市内17地区自主防災組織
- ・丸亀市社会福祉協議会
- ・丸亀市職員(危機管理課、地域づくり課、消防本部予防課)

訓練(講師:川西地区自主防災会)

- ① 避難所設営訓練
- ② 生活用水等補給訓練
- ③ 担架搬送及び車いす搬送訓練
- ④ 消火活動、土のう作製、ロープワーク及び煙体験ハウス訓練
- ⑤ 炊き出し訓練

防災講演会

演題 「南海トラフ地震へどのように備えるか」
～能登半島地震の教訓を活かす～

講師 香川大学特任教授 金田 義行 氏



避難所設営訓練



防災講演会

【坂出市】R6年度リレー防災みらいサロンの概要

- 坂出市では、小学生児童の親子を対象とした防災キャンプを開催。
- 防災クイズや避難所生活体験、防災食調理体験など、親子で楽しみながら防災知識を学習した。

日 時 令和6年11月23日(土)

場 所 交流の里 おうごし

内 容 防災キャンプ

令和6年度 リレー防災みらいサロン

ぼうさい 防災 キャンプ

さいがいじ ひなんじょ
災害時の避難所での
せいかつ たいけん
生活を体験しよう！

参加
無料



日時 11月23日(土) 9:00～12:00 (受付 8:40～)

会場 交流の里 おうごし
〒762-0014
坂出市王越町木沢1197番地8

募集対象 坂出市内の小学校に通学する児童(20名)
※3年生以下は保護者同伴
参加団体: 坂出市防災指導員、さかいで131おとめ隊、坂出市危機管理課



プログラム

1. オリエンテーション(9:00～)
2. ワークショップ(9:15～)
クイズで防災を学ぼう！
3. 避難所生活体験(10:10～)
間仕切りテントを組み立てよう！
簡易トイレはどんなもの？
4. 防災食調理体験(11:00～)
非常食をつかって食べよう！
5. 閉会(12:00～)

申し込み方法
右の二次元バーコードからお申し込みください。

申込受付期間
11月5日(火)9:00～11月13日(水)17:00
※先着順とし、定員に達し次第締め切らせていただきます。

お問い合わせ先: 坂出市 総務部
危機管理課 防災係
☎: kikikanri@city.sakaide.lg.jp
☎: 0877-44-5023

共催: 坂出市
中讃地域 防災・減災・縮災ネットワーク・プロジェクト
(事務局: 国土交通省 四国地方整備局 香川河川国道事務所)



【善通寺市】R6年度リレー防災みらいサロンの概要

➤ 善通寺市では、自主防災会による合同防災訓練を実施。

日時 令和6年11月2日(土)

場所 善通寺市武道館

- 市内の8地区による合同防災訓練が実施され、ポータブル電源の取扱いや、簡易トイレ・重量物に挟まれた人の救出などさまざまな訓練が実施されました。
- 訓練には地域の自主防災会員や学生防災サポーターやトラック協会、消防本部員などが参加されました。



ポータブル電源取扱訓練



煙の体験



段ボールベット設置訓練



簡易トイレ使用訓練



災害用伝言ダイヤル体験



物資搬送訓練

- 宇多津町では、防災講演会を開催。
- 関西大学社会安全学部教授の奥村与志弘氏を講師に迎え、住民全体に対して「防災価値と日常価値」～宇多津町の未来を見据えたこれからの防災・減災～を演目に、防災について学んだ。

日 時 令和6年8月10日（土）
場 所 宇多津町保健センター4階
対象者 宇多津町民
防災講演会 「防災価値と日常価値」

～宇多津町の未来を見据えたこれからの防災・減災～

講師 関西大学社会安全学部 教授 奥村与志弘 氏

内 容 ・ 8月に発表された南海トラフ臨時情報について
・ 平時の災害に対する取り組みや考え方について
・ 質疑応答




『防災価値と日常価値』


～宇多津町の未来を見据えたこれからの防災・減災～

南紀トウワジ館が、今後３０年以内に７０％～８０％の確率で起こると予測されています。そんななかだからこそ、**防災・減災価値をコミュニケーション**について、考えてみませんか？





「宇多津町会議」



家族（子ども）の安全を確保しよう！
～防災・減災価値を高めよう～

【講 師】 奥村 与志弘 氏 【関西大学 社会安全学専攻 教授】

【日 時】 令和６年８月１０日(土)

午前 10時～11時30分 【開場：午前９時30分】

【会 場】 宇多津町保健センター４階

※町役場駐車場の台数は限りがありますので、先着お越しの際はほどきだけ併せてお越しください。
※参加費は無料です。（お弁当やお茶をご用意いたします。）ご参加ください。

＜講師プロフィール＞



1960年大阪府、鶴立区生まれ。神戸市立中央高等学校卒業。2008年２月京都大学大学院経済学研究科修士課程修了。同年同大学経済学部助任。2010年入国貿易研究科助任。2017年５月大阪大学経済学部助任。2020年4月より現職。専門分野は国際貿易論、通関業務論、貿易政策論、貿易交渉論、貿易法論、貿易紛争解決論など。海外出張頻りに従って、海外出張先で、専門分野に関する講演や研修活動の機会に恵まれた経験がある。

【お問い合わせ】 宇多津町企画管理課
TEL : 0877-408-8027 メール : kikiiku@town.usata.kagawa.jp

(町広報折込チラシ)

- 琴平町では、身近な災害リスクに対する理解促進のため、小豆島豪雨(昭和49・51年集中豪雨)の災害記録を通じて、災害リスク・住まいの危険度を考えるワークショップを実施。
- 参加者で災害リスクを話し合い、共有することで、参加者それぞれの気づきを自分事として考え、災害リスクを考えるきっかけづくりを実施。

日 時 令和6年7月19日(金)

場 所 琴平町総合センター

対象者 婦人防火クラブ

話題提供 演目:「香川県の災害記録」

～小豆島災害(昭和49・51年集中豪雨)の記憶～

講師 香川大学 四国危機管理教育・研究・地域連携推進機構
地域強靱化研究センター 准教授 磯打千雅子 氏

意見交換(カフェスタイル座談会) 災害リスクについて



ワークショップ開催状況

➤ ワークショップでの意見交換の概要は、ビジュアル的にわかりやすい、グラフィックレコーディングにより記録。

中讃地域 防災・減災・縮災ネットワーク・プロジェクト 令和6年度 リレー防災みらいサロン 琴平町 2024.7.19

リレー防災サロンの目的

災害に強い 地域づくりを目指して...

知ろう! 話そう!

地域の課題 活動力

防災

つながりの車輪を広げよう!

琴平町 Kotohira Town

婦人防火クラブのみなさん 47名の方に ご参加いただきました

開会挨拶 小縣 真弓 琴平町企画防災課 課長

災害が発生した時... みなさんの力が使えます 地域をつなぎ、ネットワークをついていきましょう!

川の防災情報 検索してみてください

中塚 光 香川河川国道事務所 副所長

コーディネーター 澤田 俊明 徳島大学と地域共創センター 客員教授

自己紹介タイム おてなりの人と...

生れたに3の 自慢をしよう!

お互いのことを 誉め合おう!

今日来ている人の ほとんどが (1人以外全員) 危険な場所に 住んでいる!!

話題提供 災害リスク・住まいの危険度をかんがえよう!

極端な気象現象増加

確率的地震動予測地図 (30年以内に震度6弱以上)

災害に対して危険だと 分かっている場所に 住んでいる人 7割

人口約 1億2700万人

香川県内では? 97.4%が危険な場所に住んでいる

実はリスクの高い香川県

小豆島災害証言映像 浜口 美須美

みなさんと取り組む 地域の防災が専門です!

琴平は大丈夫!と見た

意見交換 災害リスクを話し合う カフェスタイル座談会

証言映像を見て... どのようなことを思うか?

みなさんの 感想・気づき

1つだけ 紙に書こう

同じテーブルの人と 共有しよう!

全体で共有しよう!

自分ごととしていくことが 大それたこと by 澤田

- 多度津町では、地震について楽しく学びながら、地域の人たちとつながり、知り合う機会を増やすため、ワークショップ(カフェスタイル座談会)を開催。
- ワークショップでは、地震に関する講演や簡易な液状化実験などで地震について学び、意見交換では、南海トラフ地震臨時情報が出れば、住民は何をすれば良いかなどの意見交換を実施。

日 時 令和6年12月21日(土)

場 所 多度津町地域交流センター 2階ホール

話題提供 講演1 「南海トラフ地震臨時情報と液状化について」

講師 高松地方気象台 南海トラフ地震防災官

話題提供 講演2 「令和6年能登半島地震 被災地での活動報告」

講師 国土交通省 香川河川国道事務所 工事品質管理官

意見交換(カフェスタイル座談会) 地震について



ワークショップ開催状況



液状化実験装置

➤ ワークショップでの意見交換の概要は、ビジュアル的にわかりやすい、グラフィックレコーディングにより記録。

中継地域
防災・減災・輸送ネットワーク・プロジェクト

令和6年度 リレー防災まいらひサロン

多度津町

2024.12.21

リレー 防災まいらひサロンについて

災害に強い、
地域づくりをしよう！

知ろ！ 話ろ！

III 防災 課題 活動

III さきげん！ 防災

つぎりの輪を広げよう！

多度津町
TADOTSU TOWN

町会挨拶

町長 田中 宗男
多度津町 町長 挨拶

カフエスタイル
開催しました。

お楽しみ会がある
会います。

コーディネーター
渡辺 保明
多摩大 入道 社会福祉センター
常務理事

2と3日
12月21日と22日(9時
同町民会館で) あります。

今日は「地震について」
一巻をみてみましょう。

どきどき
お楽しみ会
あります！

21日と22日
9時から12時
あります！

地震へ備える
どんなとき
にしたいか？

[illegible]

中讃地域 防災・減災・総災ネットワーク・プロジェクト		令和6年度 リレー防災みらいサロンの開催地		多度津町	
カフェスタイル座談会 ～地震についての意見交換～					
Q 臨時情報の解除の条件は? A ありません 時間が経てば終了 本日はまず危険を回避する社会的なバランスを取り「1週間」としている だから終結後も注意し備えておく必要がある		南海トラフ 地震 臨時情報 Q この情報が出たら一般住民は何をすればいい? A 状況や場所により判断し対応を行う ✓ 備える 海岸に近づくがよい ✓ 行動する 事前避難訓練を必ず ✓ 避難と続ける 高いところに登る		津波 Q 99%津には何時間後? A 想定される最大のクラスの地震が(M9.1)発生した場合、津波は迅速に紀伊水道へと発生し、香川県にもすぐに到達します。 発生する地震が最大クラスになると、地盤沈下も堤防が壊れることに起因する浸水がすぐさま発生することがあるので注意	
Q 自治体からのお知らせ・指示は? A 自治体ごとにロードマップなど情報があるので事前にチェックする! 津波から避難準備する時に情報が入る		地震 Q 被害の大きさは? A 被害のシュミレーションをしたハザードマップを確認して マイタイムライン(Tahoe!)と通知設定をしっかりと確認しておく		河川津波 Q 住民に伝わる良いポイントは? A ハザードマップを見ながら自分の地域や自宅などの状況を把握すること大切	
		備え Q 近き避難先(香川)練りこの前やってました! A とても重要で様々な情報が得られる 備品:AED・経路・防災グッズの備いなど 災害が難しい場合は避難する		Q 他にもこんな声がある 香川は海に面した地域で、避難場所の心配があまりない。不安になる。 近所づきあいの地域、つながりが希薄になっている。	

【まんのう町】 R6年度リレー防災みらいサロンの概要

- まんのう町では、能登半島地震に関連する講話の実施、町が地域単位の防災訓練を支援するなど防災意識の高揚を図った。
- ① 能登半島地震災害派遣職員により現地の状況等を町民に説明し、南海トラフ地震に対する耐震対策、家具の転倒防止対策など日ごろの備えについて町民の防災意識の高揚を図った。
- ② 各地区単位で行われる防災訓練に、町が参加し、備蓄品・持ち出し品の展示、避難所の開設要領などを展示・体験するなど「自助・共助の重要性」を説明した。
- ③ 町防災士会等と協力し、公民館文化祭、地域の訓練などで防災に関する啓蒙活動を行った。

① 能登半島地震派遣職員による講演

- 1月地震の被害状況説明
倒壊家屋、避難所、仮設住宅など
- 9月輪島水害の状況説明
流出家屋、土砂崩れなど
- 南海トラフ地震に対する備え
心構え、初動に対する備え



③ 町防災士会と協力した啓蒙活動

- 公民館文化祭に参加
防災クイズ、持ち出し品の展示
- 各地区防災訓練への支援
- 防災意識の高揚、啓蒙活動への協力



② 地区単位の防災訓練を支援

○ 備蓄品・持ち出し品の展示



○ 避難所の開設



○ 新聞スリッパづくり体験



○ キッチンカー協会と協力



- 「四国の川を考える会」の助成事業を活用して、令和6年度に「のぼり旗」、令和7年度に「横断幕」を作成し各市町の配布済み。
- 今後も各種防災に関する取組・イベント等で設置いただくなど、中讃地域RNPの取組周知をお願いする。



のぼり旗デザイン(縦1.5m×横0.45m)



横断幕のイメージ(縦1.2m×横3.0m)